

平成 17 年度 / 第 4 回 理事会 議事録

日 時 平成 17 年 12 月 7 日 (水) 15 時 ~ 17 時

場 所 電気学会 第 1 ~ 3 会議室

出席者：長谷川会長，野嶋会長代理，臼田・高木・松瀬・佐々木 各副会長，滝沢・青嶋・日高
各常務理事，村岡専務理事，井上・石井・下位 各部門長，森泉 E 準部門長，西谷 (代理：
北氏)・前川 (代理：秋山氏)・塚本 (代理：岩田氏)・松井・作井・島崎・白髭・原田・
芦塚 (代理：大場氏) 各支部長，貞川・佐藤 各監事
アシスタント：川北・戸谷・後藤・小林・小山
事務局：島田事務局長，神尾事務局長代理，他 6 名

配布資料

平成 17 年度 / 第 3 回 理事会 議事録 (案)

平成 18 年度事業計画

1. 平成 18 年度事業別計画案・予算案の審議結果ならびに最終承認について，他
 2. 平成 18 年度 予算 (2 次案) について，他
 3. 平成 18 年度 本部役員候補者 推薦申し出結果，他
 4. IEEJ プロフェッショナル候補者の資格認定について，他
 5. 「文書保存管理規程細目 (総務・規程 1 - 6) 支部関係箇所」一部改正のご提案
 6. 電気学会 第 94 回通常総会「特別講演」講演者・演題 (案) ご推薦状況
 7. 2005 年 10 月 ~ 11 月会員入(退)会の承認について
 8. 平成 18 年表彰 受賞候補者推薦 受理件数
 9. 平成 19 年電気学会全国大会 開催会場校決定の報告
 - 10 - 1 関西支部役員の交代 (ご報告)
 - 10 - 2 四国支部役員の交代について
 11. 第 2 回 日本機械学会と電気学会との会長懇談会 [速報]
 - 11 - 付 平成 17 年度実施 教育士 (工学・技術) 受審案内について
 12. 事業概況報告
 13. 主要催事開催案内
- 逡信総合博物館：ていぱーく「イベント情報」2005 Vol.5

議事概要

開会に先立ち，事務局から定款第 30 条 (理事会の定足数等) に基づき，本理事会は出席理事 24 名 (代理出席 4 名を含む) で成立条件の定足数 (理事現在数の 2 分の 1 以上：13 名以上) が満たされている旨の報告があり，定刻より滝沢総務企画理事の議事進行により議案の審議を開始した。

1. 前回議事録の確認

資料「平成 17 年度 / 第 3 回 理事会議事録 (案)」に基づき，事務局が概略の説明を行い，滝沢総務企画理事から事前に配布してすでに確認いただいているが，その後の修正箇所等の有無を確認した結果，異議なく承認された。

2. 審議事項

2.1 平成 18 年度 事業計画関係

(1) 前文関係

村岡専務理事から、資料「平成 18 年度事業計画」に基づき、1. 相互研鑽（ピアレビュー）の推進、2. 情報発信の推進、3. 人材育成の推進、4. 社会への貢献と電気技術への理解活動の推進、5. 学会組織・運営基盤の強化の項目ごとに説明があり、審議の結果、3 月までにフィックスする必要があり、担当役員の皆様は関係箇所でお気づきの点があれば、お知らせ頂くこととした。

(2) 平成 18 年度 事業別計画案

栗原課長から、資料 1「平成 18 年度事業別計画案・予算案の審議結果」に基づき、平成 18 年度事業（事業別）計画案・予算案については、11 月 30 日の経営戦略会議で審議を行った際のご意見を反映すること、また、(1) 前文の最終決定内容と整合を図り、各事業計画案を適宜見直しして事業を進めて頂きたいとの説明があり、審議の結果、承認された。

2.2 平成 18 年度 予算案

青嶋会計理事から、資料 2「平成 18 年度 予算（2 次案）について」に基づき次のとおり説明があり、審議の結果承認され、2 次案を最終案とすることとした。

(1) 一般会計

一般会計予算策定にあたっては、平成 17 年度に退職給付引当金を取り崩したことから、退職給付引当金への充当として、特定預金支出として 20 百万円計上した。

その結果、収入 838,135 千円、支出 821,956 千円、収支差額 16,179 千円となった。

前年度予算と比較すると、収入・支出ともに約 130 百万円の減となった。これは昨年度の OA 導入に伴う特定預金取崩収入および固定資産取得支出の特殊要因によるところが大きい。会費収入は 8.2 百万円の減少、収支差額としては 1.2 百万円の減少となった。

また、管理会計上は、平成 17 年度 / 第 2 回理事会（平成 17 年 7 月 20 日開催）承認事項に基づき、部門への個人会費収入配賦を個人会員数比例とし、各事業に属する直接人件費・事務所費を各事業支出として計上した。

(2) 特別会計

収入 6,825 千円、支出 4,250 千円、収支差額 2,575 千円となった。

昨年度における 100 周年記念事業 OA 化資金（10,000 千円）を除くと、昨年度と同額である。

(3) 支部会計

九州支部への交付金は、事務所移行（現在は大学）のため、従来額に対し 500 千円の増額とした。その他の支部への交付金は従来と同額とした。

その結果、9 支部合計で、収入 39,620 千円、支出 42,128 千円、収支差額 2,508 千円の赤字予算となった。この赤字は、各支部の繰越収支差額にて補填が可能である。

(4) 全社合計

内部取引を控除した結果、収入 858,245 千円、支出 841,999 千円、収支差額 16,246 千円となった。

【主な質疑：Q、A / 意見：C】

C：事業計画、予算案の承認について異論はないが、本当に今の会計システムで管理ができるのかどうか、経営戦略会議の場でも一、二度議論する等、良く見ていく必要があるのではないかと。

A：今回、初めての管理会計の制度でもあり、OA システムを含め、1 年間の運用後のチェックア

ンドレビューは必要だと思う。そのような機会を設けたい。

2.3 平成 18 年度 役員候補者の選定

村岡専務理事から、資料 3「平成 18 年度 本部役員候補者推薦申し出結果、他」に基づき、推薦状況について説明があり審議の結果、次のとおり進めることとした。

- ・本部役員は、上位 1 名のみを候補者として選挙を行う。
- ・支部役員候補者と部門役員候補者両方に推薦されている方が 1 名いるが、兼務が可能かどうか規程類を確認した上で進める。

2.4 IEEJ プロフェッショナル候補者の資格認定

栗原課長から、資料 4「IEEJ プロフェッショナル候補者の資格認定について」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、10 月 14 日までに申請があった 9 名が IEEJ プロフェッショナルとして認定された。

審議にあたり、活動実績がなく、これまでの認定者（58 名）も目標（200 名）を大きく下回っていることに対する改善策が必要であるとの意見があった。

- ・平成 17 年 10 月 14 日の第 3 回登録申請締切までに 9 件の申請があった。
- ・第 3 回 IEEJ プロフェッショナル資格認定審査（平成 17 年 10 月 21 日開催）および第 3 回総務会議（平成 17 年 11 月 2 日開催）において、総務・規程 1 - 10 - 1 に基づき厳正に審査した結果、9 名が IEEJ プロフェッショナルの認定資格を満たしていることを確認した。

2.5 文書保存管理規程細目（総務・規程 1 - 6）の一部改正

滝沢総務企画理事および事務局から、資料 5「文書保存管理規程細目（総務・規程 1 - 6）支部関係箇所 一部改正のご提案」に基づき、今年度、総務会議の下部組織として設置された「支部事業関係懸案事項検討WG」において、各支部の文書保存状況を調査した結果、支部によっては事務局を輪番制で運営しているなどの影響もあり、規程どおり文書の保存がなされていない実情が明らかとなり、検討の結果、新たに支部監事が設置されるなど、今後所管官庁など第三者による支部の業務監査を実施される可能性があることを視野に入れ、実情にそった規程の改正が必要との結論に至り、文書保存管理規程細目（総務・規程 1 - 6）の支部関係箇所の一部を改正したいとの提案があり、審議の結果、次のとおり改正することが承認された。

	文書名	改正前		改正後	
		保存担当	保存期間	保存担当	保存期間
1	事業報告書	総務課	永久	事業企画課	永久
2	事業計画書	総務課	永久	事業企画課	永久
3	支部総会議事録	各支部	永久	各支部	5 年
4	支部役員会議事録	各支部	永久	各支部	5 年

【主な意見（ご参考）】

- ・議事録等は紙媒体ではなく、各支部のホームページにアップし保存しておく方法も有効ではないか。
- ・業務監査に耐えることができる最低限の文書を保存することとしてほしい。

2.6 第 94 回通常総会「特別講演」講演者・演題案

事務局から、資料 6「電気学会第 94 回通常総会「特別講演」講演者・演題（案）ご推薦状況」に基づき、説明があった。審議の結果、次のとおり優先順位を付け、長谷川会長および研究経営役

員が内諾取得などの調整にあたることとした。

優先順位 1：松田昌士氏（東日本旅客鉄道 取締役会長）

2：佐々木元氏（NEC 代表取締役会長）

3：大橋秀雄氏（工学院大学 理事長）

2.7 会員の入退会

島田事務局長から、資料7「2005年10月～11月会員入(退)会の承認について」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認された。

会員増員活動に関して、野嶋会長代理から、今後も数値目標の設定は有効であると考えられるが、単年度の結果に対して一喜一憂するのではなく、例えば3年間での数値目標を設定し、それに対する毎年の活動計画設定・実績評価・目標再設定といったPDCAを廻した取り組みが必要ではないか？とのコメントがあり、総務会議にて17年度の会員増員キャンペーン結果を評価した上で、18年度以降の目標について検討することとした。

・個人会員入会者数	353名
・個人会員退会者数	110名
・事業維持会員入会数	2社(2口)
・事業維持会員退会数	8社(10口)
・事業維持会員口数変更	2社(減口5口)

- ・11月末時点で個人会員数は、平成16年度末に比べ477名の増員となっている。
- ・長谷川会長直筆サイン入りの退会慰留のお手紙等が功を奏し、81名が復会した。

上記の入退会が承認されたことにより、平成17年11月末の会員数は、個人会員24,805名、事業維持会員473社(3,318口)となった。

3. 報告事項

3.1 平成18年表彰受賞候補者の申請状況

臼田副会長から、資料8「平成18年表彰受賞候補者推薦 受理件数」に基づき、表彰委員会で審議の結果、重複推薦を除き合計69件の推薦を受け付け、今後有権者による投票に付するとの報告があった。

3.2 平成19年全国大会開催校

作井北陸支部長および事務局から、資料9「平成19年電気学会全国大会 開催会場校決定の報告」に基づき、全国大会規程第2条(会期および開催地)ならびに第3条(会場の選定)に則り、全国大会委員会において、会場の規模・参加者のアクセス・宿泊施設の受け入れ体制・助成制度等を総合的に検討した結果、平成19年3月15日(木)～17日(土)の会期で、富山大学(五福キャンパス)において開催することが決定されたとの報告があった。

3.3 支部役員の交代

(1) 関西支部

島崎関西支部長から、資料10-1「関西支部役員の交代(ご報告)」に基づき、支部役員会において、次のとおり支部役員の交代を承認したとの報告があり、了承された。

協議員：井上 隆氏(JR西日本) 熊野大司郎氏(JR西日本)

(2) 四国支部

原田四国支部長から、資料 10 - 2「四国支部役員交代について」に基づき、支部代表評議員の交代（矢原二郎氏（四国電力） 鈴木雅士氏（四国電力））に伴い、支部役員会において次のとおり支部役員交代を承認したとの報告があり、了承された。

協議員：鈴木雅士氏（四国電力） 国松直斗氏（四国電力）

3.4 第2回日本機械学会と電気学会との会長懇談会〔速報〕

島田事務局長から、資料 11「第2回日本機械学会と電気学会との会長懇談会〔速報〕」に基づき、次のとおり報告があり、D部門関係の電気自動車・ロボット分野など研究経営会議を中心とした両学会に共通するテーマ探しや合同の英文ジャーナル発行の可能性について検討していくこととした。

- ・去る12月1日、日本機械学会の田口裕也會長と長谷川会長・野嶋会長代理等による懇談会を開催した。
- ・両学会からの最近の活動紹介と話題提供に続き、CPD事業・青少年啓発・分野間の連携と融合・協調活動の具体策等について意見交換を行った。

関連して、長谷川会長から資料 11 - 付「平成17年度実施 教育士（工学・技術）受審案内について」に基づき、日本工学教育協会が平成17年度から運用を開始した「教育士（工学・技術）」制度について紹介があった。

3.5 概況報告

島田事務局長から、資料 12「事業概況報告」に基づき、学会誌・部門誌の掲載ページ数、図書出版、研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて、平成17年4月から平成17年11月まで（学会誌・部門誌の掲載頁数については平成17年12月まで）の実績報告があり、実績と計画が乖離している事業については、関係委員会・部門などでフォローして頂くこととした。

3.6 主要催事開催案内

事務局から、資料 13「主要催事開催案内」に基づき、関係役員の皆様にスケジュールを調整頂いた結果、「平成17年度 業務監査」、「平成17年度 評議員会」、「平成17年度 元会長会」、「第94回通常総会」、「新旧引継ぎ理事会および平成18年度 / 第1回理事会」など、主要催事の開催日時・場所が決まったため、関係役員の皆様にはご予定頂きたい旨の依頼があった。

3.7 その他

事務局から、資料「逓信総合博物館イベント情報「ていぱーく」2005 Vol.5」に基づき、初代会長 榎本武揚とともに電気学会創立時に幹事であった志田林三郎の生誕150周年を記念し、逓信総合博物館において平成18年1月29日まで、わが国の電気通信の先駆者と銘打った特別展が開催されている旨の紹介があった。

以上、すべての議案の審議を終了し17時閉会した。